

広報文芸

自由律俳句

おおくさの会編集室選

ひとり居にも何かと春ですまつ赤な椿 茶屋 小林 道子
 ほっこりほっこり蛙も飛び出し春をうつ 茶屋 木山 輝子
 取り残した白菜吹き立つ芽を味わう 茶屋 藤原 寿郎
 春風に乗ってみたりし昨今は 宝谷 長尾 智恵
 杖とお日様美容院まで歩けた小さな幸せ 生山 渡辺 圭子
 部落皆で植えた水仙今が盛りと咲き誇り 神戸上 柴田 篤子
 萌黄の中にここにいますとみつばつつじ 茶屋 長谷川由美子

短歌

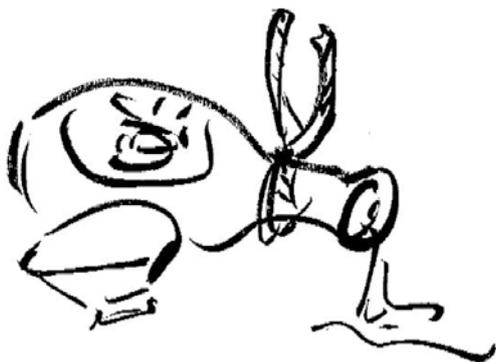
後朝きぬぎぬの別れにあらで無粋にも 昨夜飲みすぎ頭痛が残る 湯河 山田 司郎
 緑の日我家の田植え終了す 豊作祈り山の神拜む 下石見 浅川 三郎
 風に乗る自由自在に渡り鳥 幸福を呼ぶ鶴の一声 下石見 浅川 三郎
 水無月は晴間を見ての一步出し 少し急ぎてノルディックウオーク 上石見 福田 輝之
 魅せられて紅あかい椿つばきの大輪に 時を忘れてしばし佇たなずむ 上石見 福田 輝之
 気分よく鼻歌唄う我を見て ウチの子猫がどん引きしてる 下石見 佐伯みずず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。

俳句

駄句駄句会編集室

花の輪やホールインワン「おお」と声 萩原 岡本 健三
 藤の花水面みなもにたるる谷深し 宮内 木村萬佐子
 菜の花や車窓流るる色の列 宮内 田邊登志美
 花ふさのこぼれんばかり馬酔木あまひかな 宮内 船越 裕子
 達筆で届いた若布この香り 矢戸 和田 淑子
 そよぐ風マラソン選手の心いき 神戸上 笹間 玲子
 沈ちんちん花四香よしかとりどりに暖を待つ 菅沢 秦 節
 ハナミズも花のうちよと井手さらえ 下石見 矢田貝 元
 里山はしたゝる緑春爛漫 花口 新田 祐士
 米足りぬどこへ消えたか新米は 花口 新田 祐士



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

6月の日程

1日(日)・15日(日) 14時〜15時30分
 場所 文化センター第3会議室

【問合せ】

石田由香里(08030529933)
 浅野 博美(09097341887)

「6月」



左手で数字の六を表し
 右手で親指と人指し指を開きながら下に下ろしてくっつける
 (三日月の形を描く)

「結婚」+「式」



右手親指と左手小指を立てて左右外側から内側に近づけて真ん中でつける
 (親指立てて男性を表す
 小指立てて女性を表す)



両手の4指を上に向けて同時に直角に曲げる
 (人が並んで挨拶する様子の表現)

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

